

# 日程表

	第1会場 「1003」	第2会場 「1009」	第3会場 「1008」	第4会場 「1004-5」	第5会場 「1006-7」	第6会場 「1001」	
8:30							8:30
9:00	8:30~9:00 代議員会						
	9:00~9:30 総会・開会の辞						
10:00	9:35~10:35 教育講演 1 (小児科領域講習) 座長：長谷川真理 演者：濱田匡章	9:35~10:35 一般演題1 新生児 1-01~1-07	9:35~10:35 一般演題6 免疫1 6-01~6-07	9:35~10:35 一般演題11 遺伝・先天異常 11-01~11-07	9:35~10:35 一般演題16 血液・腫瘍1 16-01~16-07		10:00
11:00	10:45~11:45 特別講演 (小児科領域講習) 座長：野上恵嗣 演者：永光信一郎	10:45~11:45 一般演題2 腎・泌尿器 2-01~2-07	10:45~11:45 一般演題7 免疫2 7-01~7-06	10:45~11:45 一般演題12 精神・心理 12-01~12-07	10:45~11:45 一般演題17 血液・腫瘍2 17-01~17-07		11:00
12:00	12:00~12:50 ランチョンセミナー1 座長：滝田順子 演者：野上恵嗣 中外製薬株式会社	12:00~12:50 ランチョンセミナー2 座長：松井克之 演者：大幡泰久 アレクシオンファーマ合同会社	12:00~12:50 ランチョンセミナー3 座長：井上賢治 演者：石垣景子 居相有紀 バイオジェン・ジャパン株式会社	12:00~12:50 ランチョンセミナー4 座長：長谷川真理 演者：田邊裕子 ポルテクスファーマ株式会社	12:00~12:50 ランチョンセミナー5 座長：古市康子 演者：古庄知己 サノフィ株式会社		12:00
13:00							13:00
14:00	13:10~14:10 教育講演 2 (医療安全) 座長：石川智朗 演者：久我修二	13:10~14:25 一般演題3 循環器・川崎病 3-01~3-09	13:10~14:25 一般演題8 救急・集中治療 8-01~8-09	13:10~14:25 一般演題13 代謝・内分泌1 13-01~13-09	13:10~14:25 一般演題18 呼吸器・感染症1 18-01~18-09		14:00
15:00	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー1 座長：長谷川大一郎 演者：荻原建一 武田薬品工業株式会社	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー2 座長：松井克之 演者：長谷川真理 JCRファーマ株式会社	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー3 座長：榊原崇文 演者：濱崎考史 サノフィ株式会社	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー4 座長：齊藤利雄 演者：李知子 中外製薬株式会社	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー5 座長：松野良介 演者：長江千愛 ファイザー株式会社	14:40~15:30 アフタヌーンセミナー6 座長：野上恵嗣 演者：金子一成 ミヤザン製薬株式会社	15:00
16:00	15:45~16:45 教育講演 3 (医療倫理) 座長：吉田さやか 演者：坂野公彦	15:45~16:35 一般演題4 神経・筋1 4-01~4-05	15:45~16:35 一般演題9 アレルギー 9-01~9-06	15:45~16:35 一般演題14 代謝・内分泌2 14-01~14-06	15:45~16:35 一般演題19 呼吸器・感染症2 19-01~19-06		16:00
17:00	16:55~17:55 教育講演 4 (感染対策) 座長：武山雅博 演者：忽那賢志	16:45~17:55 一般演題5 神経・筋2 5-01~5-08	16:45~17:55 一般演題10 栄養・消化器 10-01~10-08	16:45~17:55 一般演題15 在宅医療・その他 15-01~15-08	16:45~17:55 一般演題20 呼吸器・感染症3 20-01~20-08		17:00
18:00	閉会の辞						18:00
19:00							19:00

# プログラム

2026年3月15日（日）

## 特別講演（第1会場 「1003」）

### 特別講演

10:45～11:45

小児科領域講習

座長：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学講座 教授）  
「こどもまんなか社会 ―5歳児健診をすべてのこどもに―」

演者：永光 信一郎（福岡大学 医学部小児科学講座 主任教授）

## 教育講演（第1会場 「1003」）

### 教育講演1

9:35～10:35

小児科領域講習

座長：長谷川 真理（奈良県立医科大学 小児科 助教）  
「食物アレルギー診療で知っておきたいピットフォール  
～子どもたちが教えてくれたメッセージを理解する～」

演者：濱田 匡章（八尾市立病院 小児科 科長）

### 教育講演2

13:10～14:10

専門医共通講習 [医療安全]

座長：石川 智朗（奈良県立医科大学 小児科 講師）  
「災害時にできること・できないこと」

演者：久我 修二（大分こども病院 院長）

### 教育講演3

15:45～16:45

専門医共通講習 [医療倫理]

座長：吉田 さやか（奈良県総合医療センター 小児科 部長）  
「身近になった遺伝学的検査と遺伝カウンセリング ～解釈は？ 留意点は？～」

演者：坂野 公彦（奈良県立医科大学 生理学第二講座／奈良県立医科大学附属病院 遺伝カウンセリング室 講師）

### 教育講演4

16:55～17:55

専門医共通講習 [感染対策]

座長：武山 雅博（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 血友病科 科長）  
「新興再興感染症と次のパンデミックへの備え」

演者：忽那 賢志（大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授）

## ランチョンセミナー (12:00～13:00)

### ランチョンセミナー1 第1会場「1003」

座長：滝田 順子（京都大学医学部附属病院 小児科 教授）  
「治療革新の潮流：血友病診療の進歩とヘムライブラの位置づけ」

演者：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学講座 教授）

共催：中外製薬株式会社

### ランチョンセミナー2 第2会場「1009」

座長：松井 克之（滋賀県立総合病院 小児内分泌代謝糖尿病科 部長）  
「小児科医が知っておくべき低ホスファターゼ症の診断と酵素補充療法  
—診療ガイドライン改訂を踏まえて」

演者：大幡 泰久（大阪大学大学院 医学系研究科小児科学 講師）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

### ランチョンセミナー3 第3会場「1008」

座長：井上 賢治（滋賀県立総合病院 小児神経内科）  
「SMA治療の新たな可能性～スピンラザ高用量への期待～」

演者：石垣 景子（東京女子医科大学病院 小児科 ゲノム診療科兼務 准教授）

「当院におけるヌシネルセンの治療経験」

演者：居相 有紀（大阪医科薬科大学病院 小児科）

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

### ランチョンセミナー4 第4会場「1004-1005」

座長：長谷川 真理（奈良県立医科大学 小児科 助教）  
「SGA性低身長の治療～知っておきたい注意点と効果的な介入～」

演者：田邊 裕子（関西医科大学 香里病院 小児科）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

### ランチョンセミナー5 第5会場「1006-1007」

座長：古市 康子（市立東大阪医療センター 小児科 部長）  
「遺伝性・先天性疾患のある子どもたちによりそい・ささえる小児遺伝学」

演者：古庄 知己（信州大学医学部遺伝医学教室 医学部附属病院 遺伝子医療研究センター  
教授・センター長）

共催：サノフィ株式会社

## アフタヌーンセミナー (14:40～15:30)

### アフタヌーンセミナー1 第1会場「1003」

座長：長谷川 大一郎（兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 診療部長）  
「その出血、フォンヴィレブランド病では？～診断・治療・連携のポイント～」

演者：萩原 建一（奈良県立医科大学 小児科学教室 准教授）

共催：武田薬品工業株式会社

### アフタヌーンセミナー2 第2会場「1009」

座長：松井 克之（滋賀県立総合病院 小児内分泌代謝糖尿病科 部長）  
「症例から学ぶ低身長診療のポイント」

演者：長谷川 真理（奈良県立医科大学 小児科 助教）

共催：JCRファーマ株式会社

### アフタヌーンセミナー3 第3会場「1008」

座長：榎原 崇文（奈良県立医科大学 小児科 助教）  
「大阪地区における拡大新生児マススクリーニングの現状と展望  
—ライソゾーム病・ファブリー病を見逃さないために—」

演者：濱崎 考史（大阪公立大学大学院 医学研究科 発達小児医学 教授）

共催：サノフィ株式会社

### アフタヌーンセミナー4 第4会場「1004-1005」

座長：齊藤 利雄（国立病院機構大阪刀根山医療センター 脳神経内科 小児神経内科 部長）  
「DMD診療におけるエレビジスの安全対策と診療体制の構築」

演者：李 知子（兵庫医科大学 小児科学講座 臨床准教授）

共催：中外製薬株式会社

### アフタヌーンセミナー5 第5会場「1006-1007」

座長：松野 良介（関西医科大学 小児科 准教授）  
「小児医療の“ともに決める医療（SDM）”—ギャップ調査が示す実装ポイント  
～血友病のケーススタディから学ぶ意思決定支援～」

演者：長江 千愛（聖マリアンナ医科大学 小児科 准教授）

共催：ファイザー株式会社

### アフタヌーンセミナー6 第6会場「1001」

座長：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学講座 教授）  
「小児の腸内細菌叢と疾患の関わり」

演者：金子 一成（関西医科大学 医学部 小児科学講座 教授）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

## 第2会場 「1009」

### 一般演題1：新生児 (9:35～10:35)

座長：扇谷 綾子 (奈良県総合医療センター 新生児集中治療部 部長)  
岸上 真 (社会医療法人愛仁会 高槻病院 部長)

#### 1-01 乳児血管腫に潰瘍形成を来しPPL内服療法を導入した早産児例

奈良県立医科大学附属病院 総合母子周産期医療センター 新生児集中治療部門<sup>1)</sup>、奈良県立医科大学附属病院 皮膚科<sup>2)</sup>

○小原 綾夏<sup>1)</sup>、清水 一貴<sup>1)</sup>、青木 宏諭<sup>1)</sup>、水町 邦義<sup>1)</sup>、谷 有貴<sup>1)</sup>、利根川 仁<sup>1)</sup>、西本 瑛里<sup>1)</sup>、釜本 智之<sup>1)</sup>、橋本 明日香<sup>2)</sup>、内田 優美子<sup>1)</sup>

#### 1-02 乳児血管腫を認めた早産児に対するプロプラノロール塩酸塩内服治療の経験

愛仁会高槻病院 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、愛仁会高槻病院 新生児科<sup>2)</sup>、愛仁会高槻病院 小児科<sup>3)</sup>

○西原 拓海<sup>1)</sup>、長坂 美和子<sup>2)</sup>、藤原 知咲<sup>2)</sup>、米田 徳子<sup>2)</sup>、永尾 宏之<sup>3)</sup>、岸上 真<sup>2)</sup>、池上等<sup>2)</sup>

#### 1-03 一過性新生児糖尿病の一例

済生会吹田病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪医科大学 小児科学教室<sup>2)</sup>

○南 明日香<sup>1)</sup>、平 清吾<sup>1)</sup>、安井 昌子<sup>1)</sup>、尾谷 正野<sup>1)</sup>、鶴長 恵理子<sup>1)</sup>、前島 加奈<sup>1)</sup>、山本 千裕<sup>1)</sup>、近藤 菜摘<sup>1)</sup>、黒柳 裕一<sup>2)</sup>、小川 哲<sup>1)</sup>

#### 1-04 腸重積症を発症した重度胎児発育遅延、超低出生体重児の一例

大阪医科大学 小児科<sup>1)</sup>、大阪医科大学 新生児科<sup>2)</sup>

○清水 幹也<sup>1,2)</sup>、山岡 繁夫<sup>1,2)</sup>、喜島 丈巖<sup>1,2)</sup>、町原 功実<sup>1,2)</sup>、水岡 敦喜<sup>1,2)</sup>、石本 英己<sup>1,2)</sup>、福田 弥彦<sup>1,2)</sup>、河村 佑太郎<sup>1,2)</sup>、芦田 明<sup>1,2)</sup>

#### 1-05 *Streptococcus gallolyticus subsp. Pasteurianus* による新生児細菌性髄膜炎

日本赤十字社和歌山医療センター 小児科部

○貴夢 大樹、前田 啓祐、宮崎 紗矢香、坂部 匡彦、額田 貴之、深尾 大輔、横山 宏司、杉峰 啓憲、池田 由香、儘田 光和

#### 1-06 重度の先天性気管狭窄を有する極低出生体重児に対して保存的管理で外科的介入を回避できた1例

大阪母子医療センター 新生児科<sup>1)</sup>、大阪母子医療センター 小児外科<sup>2)</sup>

○林 一鷹<sup>1)</sup>、吉田 美寿々<sup>1)</sup>、平田 克弥<sup>1)</sup>、野崎 昌俊<sup>1)</sup>、平野 慎也<sup>1)</sup>、梅田 聡<sup>2)</sup>、奈良 啓悟<sup>2)</sup>、望月 成隆<sup>1)</sup>、和田 和子<sup>1)</sup>

#### 1-07 当院における正期産児の入院期間延長に関するリスク因子の検討

神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 小児科学分野

○辻 伸太郎、城戸 拓海、今川 幸人、白井 佳祐、増田 祐、中田 有紀、芦名 満理子、藤岡 一路、野津 寛大

### 一般演題2：腎・泌尿器 (10:45～11:45)

座長：金子 直人 (生駒市立病院 小児科 主任部長)  
石森 真吾 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野  
こども急性疾患学部門 小児科 特命准教授)

#### 2-01 下肢痛を主訴に受診した急性巣状細菌性腎炎の1例

箕面市立病院 小児科

○松田 莉佳、寺西 将也、久原 崇志、松村 知美、向井 昌史、平野 恭悠、東 純史、吉川 真紀子、長谷川 泰浩

#### 2-02 Positioning instillation of contrast cystography(PICc)が有用であった潜在性膀胱尿管逆流の1例

兵庫県立こども病院 腎臓内科<sup>1)</sup>、兵庫県立こども病院 泌尿器科<sup>2)</sup>

○稲永 優医<sup>1)</sup>、貝藤 裕史<sup>1)</sup>、田中 悠<sup>1)</sup>、池田 茂生<sup>1)</sup>、金 奏希<sup>1)</sup>、小倉 愛由<sup>1)</sup>、杉多 良文<sup>2)</sup>、田中 亮二郎<sup>1)</sup>、飯島 一誠<sup>1)</sup>

### 2-03 尿培養が陰性であり診断に難渋した腎嚢胞感染の1例

箕面市立病院 小児科

○中川 薫、吉和 穂乃佳、松村 知美、向井 昌史、平野 恭悠、東 純史、吉川 真紀子、長谷川 泰浩

### 2-04 MPGN patternを示した溶連菌感染による感染関連糸球体腎炎の1例

奈良県立医科大学付属病院 小児科<sup>1)</sup>、済生会中和病院 小児科<sup>2)</sup>

○辻本 虹歩<sup>1)</sup>、石川 智朗<sup>1)</sup>、濱野 有里<sup>1)</sup>、大前 隆志<sup>1)</sup>、福田 和由<sup>2)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>

### 2-05 当院で口蓋扁桃摘出術とステロイドパルス療法併用後にミゾリピンで後療法をおこなったIgA腎症の5例のまとめ

大阪医科薬科大学病院 小児科<sup>1)</sup>、北辰会 天の川病院 小児科<sup>2)</sup>、市立ひらかた病院 小児科<sup>3)</sup>

○田中 智子<sup>1)</sup>、松村 英樹<sup>1)</sup>、藤井 裕子<sup>1)</sup>、山崎 哲司<sup>2)</sup>、白数 明彦<sup>3)</sup>、中倉 兵庫<sup>2)</sup>、芦田 明<sup>1)</sup>

### 2-06 アレルギー検査を契機に発見されたネフロン癆の1男児例

近畿大学医学部小児科学

○福島 優、森本 優一、宮崎 紘平、杉本 圭相

### 2-07 トスフロキサシンによる結晶性腎症をきたした6歳男児例

関西医科大学小児科学講座<sup>1)</sup>、関西医科大学附属病院 臨床検査医学センター<sup>2)</sup>

○加藤 正吾<sup>1)</sup>、赤川 翔平<sup>1)</sup>、山内 壮作<sup>1)</sup>、伏見 祥広<sup>2)</sup>、辻 章志<sup>1)</sup>、金子 一成<sup>1)</sup>

## 一般演題3：循環器・川崎病 (13:10~14:25)

座長：丸谷 怜 (近畿大学医学部 小児科学教室 講師)

吉澤 弘行 (奈良県西和医療センター 小児科 部長)

### 3-01 水分貯留に伴って顕在性症状を呈した川崎病の3例

八尾市立病院 小児科

○平尾 桜子、濱田 匡章、杉村 憲市、久保 昂司、佐々木 彩、山口 侑加、吉川 侑子、井崎 和史、道之前 八重、箕輪 秀樹

### 3-02 胆嚢腫大を合併し、治療に難渋した川崎病の一例

和泉市立総合医療センター 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、和泉市立総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○内田 美紀<sup>1)</sup>、清原 華也<sup>2)</sup>、末澤 理玖<sup>2)</sup>、萩原 雅勝<sup>2)</sup>、西本 風里<sup>2)</sup>、秦 直樹<sup>2)</sup>、澤田 智<sup>2)</sup>、坂東 賢二<sup>2)</sup>、村上 城子<sup>2)</sup>

### 3-03 川崎病と頸部リンパ節炎の臨床的鑑別における有用な因子の検討

兵庫県立こども病院 小児科<sup>1)</sup>、兵庫県立はりま姫路総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○富田 藍子<sup>1)</sup>、青砥 悠哉<sup>2)</sup>、吉村 桃果<sup>2)</sup>、上田 知佳<sup>2)</sup>、仲嶋 健吾<sup>2)</sup>、百々 菜月<sup>2)</sup>、田中 司<sup>2)</sup>、忍頂寺 毅史<sup>2)</sup>

### 3-04 当院における川崎病急性期治療へのプレドニゾロン導入後の影響

京都済生会病院 小児科<sup>1)</sup>、京都府立医科大学 小児科<sup>2)</sup>

○小澤 誠一郎<sup>1)</sup>、川合 満<sup>1)</sup>、後藤 幸子<sup>1)</sup>、勝見 良樹<sup>1)</sup>、池田 和幸<sup>2)</sup>

### 3-05 肝酵素上昇を伴った川崎病の予後の比較検討

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 小児科<sup>1)</sup>、兵庫県立こども病院<sup>2)</sup>

○吉村 桃果<sup>1)</sup>、仲嶋 健吾<sup>1)</sup>、富田 藍子<sup>1)</sup>、林 亞佳里<sup>1)</sup>、佛坂 智仁<sup>2)</sup>、上田 知佳<sup>1)</sup>、青砥 悠哉<sup>1)</sup>、百々 菜月<sup>1)</sup>、田中 司<sup>1)</sup>、忍頂寺 毅史<sup>1)</sup>

### 3-06 8年間計143例の川崎病における初回免疫グロブリン静注有効例と不応例、冠動脈病変に関する解析

和泉市立総合医療センター

○清原 華也、末澤 理玖、萩原 雅勝、西本 風里、秦 直樹、澤田 智、坂東 賢二、村上 城子

- 3-07 長期の低酸素療法により大動脈弓修復術に至った大動脈弓離断複合を合併した超低出生体重児の一例  
奈良県立医科大学附属病院小児科<sup>1)</sup>、奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門<sup>2)</sup>  
○奥本 航平<sup>1)</sup>、辻井 信之<sup>1)</sup>、梶本 昂宏<sup>1)</sup>、辻本 虹歩<sup>1)</sup>、利根川 仁<sup>2)</sup>、内田 優美子<sup>2)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>
- 3-08 学童期より心機能障害を呈した新生児発症型プロピオン酸血症の一例  
兵庫医科大学 小児科学<sup>1)</sup>、兵庫県立尼崎総合医療センター 小児循環器科<sup>2)</sup>  
○松井 美樹<sup>1)</sup>、李 知子<sup>1)</sup>、横山 陽子<sup>1)</sup>、石原 温子<sup>2)</sup>、竹島 泰弘<sup>1)</sup>
- 3-09 左室心筋緻密化障害と心室中隔欠損症を合併した15q26欠失例  
大阪医科薬科大学病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪医科薬科大学病院 新生児科<sup>2)</sup>  
○町原 功実<sup>1)</sup>、小田中 豊<sup>1)</sup>、水岡 敦喜<sup>1)</sup>、居相 有紀<sup>1)</sup>、蘆田 温子<sup>1)</sup>、尾崎 智康<sup>1)</sup>、岸 勘太<sup>1)</sup>、山岡 繁夫<sup>1,2)</sup>、  
島川 修一<sup>1)</sup>、芦田 明<sup>1,2)</sup>

## 一般演題4：神経・筋1 (15:45～16:35)

座長：竹田 洋子 (公立大学法人奈良県立医科大学 小児科 助教)  
九鬼 一郎 (大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科 医長)

- 4-01 小児HSV脳炎後のepileptic spasmsに対するACTH療法の治療経験  
大阪市立総合医療センター 小児脳神経言語療法内科<sup>1)</sup>、大阪市立総合医療センター 小児救急感染症内科<sup>2)</sup>  
○大井 遼<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、竹内 彩華<sup>1)</sup>、濱本 麻希<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、  
天羽 清子<sup>2)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>
- 4-02 発熱以外の症状に乏しい抗MOG抗体陽性の無菌性髄膜炎の1例  
兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科<sup>1)</sup>、兵庫県立尼崎総合医療センター 小児脳神経内科<sup>2)</sup>  
○寺尾 元<sup>1,2)</sup>、濱田 周<sup>2)</sup>、金 聖泰<sup>2)</sup>、藤田 祐也<sup>1)</sup>、高島 慎之介<sup>1)</sup>、松丸 直裕<sup>1)</sup>、立津 衣璃葉<sup>1)</sup>、高原 賢守<sup>1)</sup>、  
上村 克徳<sup>1)</sup>、毎原 敏郎<sup>2)</sup>
- 4-03 可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症(MERS)で発症し、MOG抗体関連疾患に進展した1例  
奈良県総合医療センター 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、奈良県総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>  
○柴田 大樹<sup>1,2)</sup>、山本 直寛<sup>2)</sup>、大西 真衣<sup>2)</sup>、岡村 卓実<sup>2)</sup>、蜂須賀 宗嗣<sup>2)</sup>、北野 泰斗<sup>2)</sup>、西川 宏樹<sup>2)</sup>、  
大仲 雅之<sup>2)</sup>、鈴木 里香<sup>2)</sup>、吉田 さやか<sup>2)</sup>
- 4-04 可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎/脳症(MERS)に小脳炎を伴ったA型インフルエンザウイルス感染症の一例  
大阪赤十字病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、大阪赤十字病院 小児科<sup>2)</sup>  
○野世溪 萌<sup>1)</sup>、天満 祐貴<sup>2)</sup>、柴田 幸穂<sup>2)</sup>、池田 淑代<sup>2)</sup>、藤野 寿典<sup>2)</sup>
- 4-05 高サイトカイン血症を伴ったインフルエンザ関連MERSの2例  
公立豊岡病院組合立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>、高槻病院 小児科<sup>2)</sup>  
○野村 勝太<sup>1,2)</sup>、山田 博之<sup>1)</sup>、片岡 大<sup>1)</sup>、藤林 洋美<sup>1)</sup>、港 敏則<sup>1)</sup>

## 一般演題5：神経・筋2 (16:45～17:55)

座長：澤井 康子 (独立行政法人国立病院機構奈良医療センター 小児神経科 診療部長)  
佐久間 悟 (大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学 講師)

- 5-01 内視鏡検査時に使用したハロペリドールにより急性ジストニアを呈した15歳女子例  
奈良県立医科大学附属病院 小児科  
○濱野 有里、石川 智朗、大前 隆志、野上 恵嗣

**5-02 溶連菌感染後急性糸球体腎炎を契機に発症した可逆性後頭葉白質脳症の一例**

社会医療法人 愛仁会 高槻病院<sup>1)</sup>、八尾市立病院<sup>2)</sup>

○柏木 麻友子<sup>1)</sup>、石河 慎也<sup>1)</sup>、服部 有香<sup>1)</sup>、桂 悠一郎<sup>1)</sup>、山本 和宏<sup>1)</sup>、篠本 匡志<sup>1)</sup>、大西 聡<sup>1)</sup>、久保 昂司<sup>2)</sup>、起塚 庸<sup>1)</sup>

**5-03 マイコプラズマ感染に伴う急性脳症の一例**

箕面市立病院 卒後臨床研修室<sup>1)</sup>、箕面市立病院 小児科<sup>2)</sup>

○岡 大輔<sup>1)</sup>、向井 昌史<sup>2)</sup>、寺西 将也<sup>2)</sup>、久原 崇志<sup>2)</sup>、松村 知美<sup>2)</sup>、平野 恭悠<sup>2)</sup>、東 純史<sup>2)</sup>、吉川 真紀子<sup>2)</sup>、長谷川 泰浩<sup>2)</sup>

**5-04 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン接種翌日に熱性痙攣重積を起こした2症例の報告**

大阪赤十字病院

○森 絵理、中島 諒、新居 敏、大部 聡、藤野 寿典

**5-05 難治性てんかんのため臭化物による臭素疹を許容した全前脳胞症の一例**

京都第一赤十字病院 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、京都第一赤十字病院 新生児科<sup>2)</sup>、京都第一赤十字病院 小児科<sup>3)</sup>、兵庫医科大学 小児科学<sup>4)</sup>

○水野 優香里<sup>1)</sup>、杉本 篤哉<sup>2)</sup>、井田 学<sup>3)</sup>、近藤 秀仁<sup>3)</sup>、宇都宮 剛<sup>2,4)</sup>、木下 大介<sup>2)</sup>、短田 浩一<sup>3)</sup>、西村 陽<sup>2,3)</sup>

**5-06 経食道心エコーを施行することで原因特定に至った小児脳梗塞の2例**

大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科<sup>1)</sup>、大阪市立総合医療センター 小児循環器・不整脈内科<sup>2)</sup>

○上田 美智子<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、竹内 彩華<sup>1)</sup>、濱本 麻希<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、藤野 光洋<sup>2)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

**5-07 脳波異常を呈した不思議の国のアリス症候群の2例**

箕面市立病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、箕面市立病院 小児科<sup>2)</sup>

○坂爪 秀匡<sup>1)</sup>、東 純史<sup>2)</sup>、富田 菜穂子<sup>2)</sup>、吉和 穂乃佳<sup>2)</sup>、寺西 将也<sup>2)</sup>、久原 崇志<sup>2)</sup>、向井 昌史<sup>2)</sup>、平野 恭悠<sup>2)</sup>、吉川 真紀子<sup>2)</sup>、長谷川 泰浩<sup>2)</sup>

**5-08 連日性の頭痛を主訴に受診した症例の検討**

兵庫医科大学小児科学

○徳永 沙知、下村 英毅、寺崎 英佑、谷口 直子、竹島 泰弘

一般演題6：免疫1 (9:35～10:35)

座長：中岸 保夫 (兵庫県立こども病院 リウマチ科 部長)  
大内 一孝 (京都府立大学法人 京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学 学内講師)

- 6-01 新生児マスキリングで発見された母体アザチオプリン内服による一過性B細胞減少例  
奈良県立医科大学 小児科  
○石原 卓、秋定 直宏、渡壁 麻依、越智 聡史、長谷川 真理、野上 恵嗣
- 6-02 菊池病との鑑別を要した小児期発症シェーグレン症候群の一男児例  
愛仁会高槻病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、愛仁会高槻病院 小児科<sup>2)</sup>  
○大河内 園子<sup>1)</sup>、中河 あかり<sup>2)</sup>、新田 兼子<sup>2)</sup>、杉田 愛<sup>2)</sup>、吉永 武史<sup>2)</sup>、加藤 大吾<sup>2)</sup>、永尾 宏之<sup>2)</sup>、石河 慎也<sup>2)</sup>、中橋 達<sup>2)</sup>、起塚 庸<sup>2)</sup>
- 6-03 不随意運動が遷延し診断に苦慮した抗リン脂質抗体症候群の10歳男児例  
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 小児科  
○上野 薫、古川 智偉、中川 隆太郎、高折 徹、中川 権史、塩田 光隆、秦 大資
- 6-04 原発性硬化性胆管炎に合併して偶発的に指摘されたtriple positiveの抗リン脂質抗体症候群の一例  
大阪赤十字病院 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、大阪赤十字病院 小児科<sup>2)</sup>、大阪赤十字病院 小児外科<sup>3)</sup>、大阪赤十字病院 消化器内科<sup>4)</sup>、京都大学医学部附属病院 小児科<sup>5)</sup>  
○西林 宏祐<sup>1,2)</sup>、高田 斉人<sup>3)</sup>、辻本 彰子<sup>4)</sup>、浅田 全範<sup>4)</sup>、丸澤 宏之<sup>4)</sup>、日衛嶋 栄太郎<sup>5)</sup>、藤野 寿典<sup>2)</sup>
- 6-05 原発性シェーグレン症候群に合併した難治性尿管間質性腎炎の小児例  
神戸大学医学部附属病院 小児科<sup>1)</sup>  
○青山 周平、石森 真吾、木村 裕香、山本 朝日、猪野木 雄太、榎原 菜々、長野 智那、堀之内 智子、山村 智彦、野津 寛大
- 6-06 急性肝不全合併EBV-HLHに対し活性化T細胞の動態評価と制御後に生体肝移植へ移行し得た1例  
京都大学医学部附属病院 小児科<sup>1)</sup>、天理よろづ相談所病院 小児科<sup>2)</sup>  
○北原 大嗣<sup>1)</sup>、前田 由可子<sup>1)</sup>、畑中 彩季<sup>1)</sup>、大植 啓史<sup>1)</sup>、菅 健敬<sup>1)</sup>、舞鶴 賀奈子<sup>2)</sup>、柴田 洋史<sup>1)</sup>、日衛嶋 栄太郎<sup>1)</sup>、井澤 和司<sup>1)</sup>、滝田 順子<sup>1)</sup>
- 6-07 ステロイドパルス療法を行わずに寛解導入し得た高血圧合併ループス腎炎の一例  
京都田辺中央病院 小児科<sup>1)</sup>、京都府立医科大学附属病院 小児科<sup>2)</sup>  
○鈴木 唯加<sup>1)</sup>、山下 哲史<sup>1)</sup>、上原 久輝<sup>1)</sup>、松尾 憲典<sup>1)</sup>、伊藤 陽里<sup>1)</sup>、石丸 庸介<sup>1)</sup>、大矢 暁<sup>2)</sup>、大内 一孝<sup>2)</sup>、秋岡 親司<sup>2)</sup>

一般演題7：免疫2 (10:45～11:45)

座長：芝 剛 (天理よろづ相談所病院「鵜の家」 小児科 部長)  
杉田 侑子 (大阪医科薬科大学 小児科 助教)

- 7-01 著名な眼瞼浮腫が先行してアレルギーが疑われた若年性皮膚筋炎の一例  
大阪医科薬科大学病院 臨床研修室<sup>1)</sup>、大阪医科薬科大学病院 小児科<sup>2)</sup>、大阪ろうさい病院 小児科<sup>3)</sup>、南奈良総合医療センター 小児科<sup>4)</sup>、市立東大阪医療センター 小児科<sup>5)</sup>  
○麻生川 明里<sup>1)</sup>、杉田 侑子<sup>2)</sup>、児玉 摂子<sup>2)</sup>、岡本 奈美<sup>2,3)</sup>、土井 政明<sup>4,5)</sup>、芦田 明<sup>2)</sup>
- 7-02 慢性再発性多発性骨髄炎を発症した重症心身障害児の1例  
奈良県総合医療センター  
○蜂須賀 宗嗣、平野 信慈、岡村 卓実、北野 泰斗、山本 直寛、西川 宏樹、大仲 雅之、鈴木 里香、吉田 さやか

7-03 非周期的な発熱と両膝関節の違和感を繰り返した慢性再発性多発性骨髄炎の女児例

兵庫県立こども病院

○島岡 建太、榊田 千晶、水田 麻雄、中岸 保夫

7-04 高安動脈炎治療中にクローン病を発症した13歳女児

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 小児科<sup>2)</sup>、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 消化器内科<sup>3)</sup>

○阪上 陽菜<sup>1)</sup>、中川 権史<sup>2)</sup>、宮里 茉樹<sup>2)</sup>、堀 創馬<sup>2)</sup>、中川 隆太郎<sup>2)</sup>、酒井 達紘<sup>2)</sup>、大堂 真一郎<sup>3)</sup>、中神 聡太<sup>3)</sup>、塩田 光隆<sup>2)</sup>

7-05 眼病変管理が奏功した薬剤性Stevens-Johnson症候群の一例

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、兵庫県立はりま姫路総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○高橋 佑実<sup>1)</sup>、上田 知佳<sup>2)</sup>、吉村 桃果<sup>2)</sup>、富田 藍子<sup>2)</sup>、林 亜佳里<sup>2)</sup>、仲嶋 健吾<sup>2)</sup>、青砥 悠哉<sup>2)</sup>、百ヶ 菜月<sup>2)</sup>、田中 司<sup>2)</sup>、忍頂寺 毅史<sup>2)</sup>

7-06 IgA血管炎に対するジアフェニルスルホン過量投与によりメトヘモグロビン血症を発症した一例

近畿大学 医学部 医学科 5年生<sup>1)</sup>、近畿大学 医学部 小児科学教室<sup>2)</sup>

○藤野 光一郎<sup>1)</sup>、森本 優一<sup>2)</sup>、宮崎 紘平<sup>2)</sup>、杉本 圭相<sup>2)</sup>

一般演題8：救急・集中治療 (13:10~14:25)

座長：高島 光平 (滋賀医科大学 小児科学講座 (救急・集中治療部兼任) 助教)  
福田 和由 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会中和病院 小児科 部長)

8-01 小児重症多発外傷の集学的治療の経験と当院の役割

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、兵庫県立はりま姫路総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○森内 優介<sup>1)</sup>、吉村 桃果<sup>2)</sup>、富田 藍子<sup>2)</sup>、上田 知佳<sup>2)</sup>、仲嶋 健吾<sup>2)</sup>、青砥 悠哉<sup>2)</sup>、百々 菜月<sup>2)</sup>、田中 司<sup>2)</sup>、忍頂寺 毅史<sup>2)</sup>

8-02 小児救急診療における腹部外傷予測モデルの構築と評価：オープンデータを用いた機械学習アプローチ

近畿大学 医学部 医学科 5年生<sup>1)</sup>、近畿大学 医学部 小児科学教室<sup>2)</sup>

○上森 智裕<sup>1)</sup>、森本 優一<sup>2)</sup>、廣瀬 卓<sup>2)</sup>

8-03 小児の外傷性股関節脱臼の1例

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 2年次初期研修医<sup>1)</sup>、医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院<sup>2)</sup>

○後藤 佳怜<sup>1)</sup>、松元 陽一<sup>2)</sup>

8-04 PECARN頭部外傷ルール中間リスクで経過観察を選択したが、後日、頭蓋内血腫を認めた頭部外傷の2例

はりま姫路総合医療センター小児科

○林 亜佳里、青砥 悠哉、富田 藍子、吉村 桃果、上田 知佳、仲嶋 健吾、百々 菜月、田中 司、忍頂寺 毅史

8-05 頭痛・嘔吐を主訴に早期に脳腫瘍を診断しえた2例

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

○佛坂 智仁、吉村 桃果、上田 知佳、仲嶋 健吾、青砥 悠哉、百々 菜月、田中 司、忍頂寺 毅史

8-06 Meckel憩室を先進部にもつmesodiverticular bandによる絞扼性腸閉塞の9歳男児

医学研究所北野病院 小児科<sup>1)</sup>、医学研究所北野病院 小児外科<sup>2)</sup>

○杉原 健介<sup>1)</sup>、北岡 建吾<sup>1)</sup>、國分 杏奈<sup>1)</sup>、光吉 康太<sup>1)</sup>、久米 英太郎<sup>1)</sup>、大西 健仁<sup>1)</sup>、園田 真理<sup>2)</sup>、福澤 宏明<sup>2)</sup>、塩田 光隆<sup>1)</sup>

8-07 Streptococcus gallolyticus菌血症から敗血症性ショックに至った脾臓低形成の一例

愛仁会 高槻病院

○西川 仁、篠本 匡志、中河 あかり、加藤 大吾、山本 和宏、大西 聡、起塚 庸

8-08 当院で経験した小児の異物誤飲90例の臨床的検討

大和高田市立病院

○鶴飼 也真人、萬代 剛司、西川 有希、清水 真理子、池田 聡子、川口 千晴

8-09 兵庫県のPICU2施設に県外から転院入室した症例の特徴

兵庫県立こども病院 小児集中治療センター<sup>1)</sup>、兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科<sup>2)</sup>

○黒澤 寛史<sup>1)</sup>、椎間 優子<sup>1)</sup>、長井 勇樹<sup>1)</sup>、伊藤 雄介<sup>2)</sup>

一般演題9：アレルギー (15:45～16:35)

座長：土井 政明 (南奈良総合医療センター 小児科 部長)

赤川 翔平 (関西医科大学付属病院 小児科学講座/附属病院アレルギーセンター 講師/副センター長)

9-01 過去12年間にアナフィラキシーで入院した86例の検討

市立奈良病院 小児科

○大塚 敬太、柴崎 史隆、池田 衣里、竹下 泰史、平 康二

9-02 当院救急外来をアナフィラキシーで受診した患者における木の実類アレルギーの検討

兵庫県立こども病院 アレルギー科<sup>1)</sup>、兵庫県立はりま姫路総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>、たなか小児科アレルギー科<sup>3)</sup>

○井上 遼太郎<sup>1)</sup>、長谷川 智大<sup>1)</sup>、仲嶋 健吾<sup>1,2)</sup>、田中 裕也<sup>1,3)</sup>、浜田 佳奈<sup>1)</sup>

9-03 耐性獲得と判断された後に乳清プロテイン飲料によるアレルギー症状を起こした牛乳アレルギーの1例

滋賀県立総合病院こども医療センター 小児免疫アレルギー科<sup>1)</sup>、龍谷大学農学部食品栄養学科 小児保健栄養学研究室<sup>2)</sup>

○甲良 竜子<sup>1)</sup>、阿部 純也<sup>1)</sup>、大岩 香梨<sup>1)</sup>、中本 牧子<sup>1)</sup>、楠 隆<sup>1,2)</sup>

9-04 Pork-cat症候群を否定し得た、豚肉による食物依存性運動誘発アナフィラキシー (FDEIA) の1例

国保中央病院 小児科<sup>1)</sup>、かわはらこどもクリニック<sup>2)</sup>、ホーユー株式会社総合研究所<sup>3)</sup>

○中農 昌子<sup>1)</sup>、松山 愛海<sup>1)</sup>、山口 侑加<sup>1)</sup>、飯田 陽子<sup>1)</sup>、高川 健<sup>1)</sup>、河原 信吾<sup>2)</sup>、中村 月泉<sup>3)</sup>、中村 政志<sup>3)</sup>、  
阪井 利幸<sup>1)</sup>

9-05 デュピルマブ中止後にネモリズマブを導入しコントロール良好に経過したアトピー性皮膚炎の学童例

大和高田市立病院 小児科

○池田 聡子、鶴飼 也真人、萬代 剛司、西川 有希、清水 真理子、川口 千晴

9-06 当院における多職種連携によるアレルギー診療の質向上と効率化への取り組み

大和高田市立病院 小児科<sup>1)</sup>、大和高田市立病院 看護局<sup>2)</sup>、大和高田市立病院 薬剤部<sup>3)</sup>、大和高田市立病院 栄養管理科<sup>4)</sup>、  
大和高田市立病院 総務課<sup>5)</sup>

○池田 聡子<sup>1)</sup>、濱走 香<sup>2)</sup>、石田 葉月<sup>3)</sup>、辻 安也奈<sup>4)</sup>、堀井 さゆり<sup>2)</sup>、藪中 優子<sup>2)</sup>、浜辺 華代<sup>2)</sup>、荻原 健比古<sup>5)</sup>、  
清水 真理子<sup>1)</sup>、川口 千晴<sup>1)</sup>

一般演題10：栄養・消化器 (16:45～17:55)

座長：木村 武司 (大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学 講師)

日衛嶋 栄太郎 (京都大学医学部附属病院 発達小児科学 病院講師)

10-01 C1000ビタミンレモンを併用したラパンツェル症候群の小児例

市立吹田市民病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、市立吹田市民病院 小児科<sup>2)</sup>、市立吹田市民病院 小児外科<sup>3)</sup>、  
市立吹田市民病院 消化器内科<sup>4)</sup>

○畑 啓太<sup>1)</sup>、田中 一樹<sup>2)</sup>、木村 貞美<sup>2)</sup>、濱田 悠介<sup>2)</sup>、杉辺 英世<sup>2)</sup>、岸本 加奈子<sup>2)</sup>、平野 藍子<sup>2)</sup>、田中 夏美<sup>3)</sup>、  
長生 幸司<sup>4)</sup>、長井 健悟<sup>4)</sup>

- 10-02 **フォローアップミルクの多飲にともなうカルシウム過剰摂取により高カルシウム血症・腎石灰化症を来した1例**  
公益財団法人丹後中央病院 小児科  
○木下（西村） 尚子
- 10-03 **極端な偏食とバルプロ酸内服中の自閉症児に認めた葉酸欠乏性巨赤芽球性貧血の一例**  
国保中央病院 小児科  
○飯田 陽子、松山 愛海、山口 侑加、中農 昌子、高川 健、阪井 利幸
- 10-04 **非典型的な内視鏡所見を呈した好酸球性大腸炎により成長障害と二次性徴遅延をきたした1例**  
大阪医科薬科大学病院 小児科  
○渡 真奈武、梶 恵美里、西本 聡美、芦田 明
- 10-05 **限局性筋膜炎を伴った潰瘍性大腸炎の一例**  
和歌山県立医科大学 小児科  
○兼子 由梨香、井中 将吾、徳原 大介
- 10-06 **タクロリムスで外科的治療を回避でき、寛解維持にアザチオプリンが有効だった重症潰瘍性大腸炎の3症例**  
近畿大学奈良病院 小児科  
○香川 明生、近藤 宏樹、永谷 奈央、船戸 契、虫明 聡太郎
- 10-07 **無症候性の血中膵酵素上昇からGuilló症候群が疑われた一例**  
奈良県立医科大学 附属病院<sup>1)</sup>、済生会中和病院<sup>2)</sup>  
○吉本 知史<sup>1)</sup>、大前 隆志<sup>1)</sup>、渡壁 麻依<sup>1)</sup>、下西 成人<sup>1)</sup>、榊原 崇文<sup>1)</sup>、南 博明<sup>2)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>
- 10-08 **サルモネラ腸炎に急性膵炎、偽胆石を合併した10歳女児の一例**  
一般財団法人 住友病院 小児科  
○三浦 美子、川上 智子、塚本 浩子

## 第4会場 「1004-1005」

### 一般演題11：遺伝・先天異常 (9:35～10:35)

座長：川口 千晴 (大和高田市立病院 副院長／主任部長)  
杉本 卓也 (和歌山県立医科大学 小児科学教室 助教)

#### 11-01 積極的な医療介入により長期生存をえた13トリソミーの1例

日本バプテスト病院 小児科<sup>1)</sup>、御所南はらしまクリニック<sup>2)</sup>、京都大学医学部附属病院 小児科<sup>3)</sup>、  
京都府立医科大学附属病院 小児外科<sup>4)</sup>、聖ヨゼフ医療福祉センター 小児科<sup>5)</sup>

○原島 知恵<sup>1,2)</sup>、山川 孔<sup>1)</sup>、池田 響子<sup>1)</sup>、菊池 尚子<sup>1)</sup>、馬場 志郎<sup>3)</sup>、吉田 健司<sup>3)</sup>、滝田 順子<sup>3)</sup>、高山 勝平<sup>4)</sup>、  
小野 滋<sup>4)</sup>、廣田 陽代<sup>5)</sup>

#### 11-02 小腸穿孔術後にドナーミルクが奏功した18トリソミーの一例

奈良県立医科大学 医学部 小児科<sup>1)</sup>、大和高田市立病院 小児科<sup>2)</sup>、昭和医科大学 医学部 小児科学講座<sup>3)</sup>

○谷 有貴<sup>1)</sup>、梶本 昂宏<sup>1)</sup>、鶴飼 也真人<sup>2)</sup>、辻本 虹歩<sup>1)</sup>、小原 綾夏<sup>1)</sup>、辻井 信之<sup>1)</sup>、釜本 智之<sup>1)</sup>、内田 優美子<sup>1)</sup>、  
野上 恵嗣<sup>1)</sup>、水野 克己<sup>3)</sup>

#### 11-03 羊水検査で21トリソミーモザイクを認め出生前コンサルト小児科医として関わった1例

奈良県総合医療センター 新生児集中治療部<sup>1)</sup>、遺伝カウンセリング室<sup>2)</sup>、産婦人科<sup>3)</sup>

○安原 肇<sup>1,2)</sup>、佐道 俊幸<sup>2,3)</sup>、丹羽 由衣<sup>2)</sup>、扇谷 綾子<sup>1)</sup>、小林 遼平<sup>1)</sup>、新納 恵美子<sup>2,3)</sup>

#### 11-04 胎児期後期より心筋肥厚を認め、出生後も循環管理に難渋したNoonan症候群の1例

京都大学医学部医学科 6回生<sup>1)</sup>、京都大学医学部附属病院 小児科<sup>2)</sup>

○上西 輝<sup>1)</sup>、赤木 健太郎<sup>2)</sup>、馬場 志郎<sup>2)</sup>、福村 史哲<sup>2)</sup>、門屋 卓己<sup>2)</sup>、平田 拓也<sup>2)</sup>、滝田 順子<sup>2)</sup>

#### 11-05 当施設での先天性十二指腸閉鎖・狭窄症術後の長期フォローの実態

奈良県総合医療センター 小児外科<sup>1)</sup>、奈良県総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○古形 修平<sup>1)</sup>、佐々木 隆士<sup>1)</sup>、山内 勝治<sup>1)</sup>、木村 浩基<sup>1)</sup>、米倉 竹夫<sup>1)</sup>、吉田 さやか<sup>2)</sup>

#### 11-06 体重増加不良を契機に診断した舌根嚢胞の乳児例

大阪市立総合医療センター 小児代謝内分泌・腎臓内科<sup>1)</sup>、大阪市立総合医療センター 小児耳鼻いんこう科<sup>2)</sup>

○酒井 亮太<sup>1)</sup>、藤井 隆大<sup>1)</sup>、鎌倉 武史<sup>2)</sup>、藤丸 季可<sup>1)</sup>

#### 11-07 16歳で診断された早老性ラミノパチーの1例

大阪市立総合医療センター 小児代謝内分泌・腎臓内科

○渡部 瑤、甲賀 恵里、山田 勇氣、樋口 真司、森 潤

### 一般演題12：精神・心理 (10:45～11:45)

座長：中河 いよう (独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 小児科 部長)  
柳本 嘉時 (関西医科大学総合医療センター 小児科 病院講師)

#### 12-01 神経性やせ症に対する当院の入院治療の取り組み

大阪医科薬科大学病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪府済生会茨木病院 小児科<sup>2)</sup>、OD 低血圧クリニック田中<sup>3)</sup>

○山分 銀六<sup>1)</sup>、吉田 誠司<sup>1)</sup>、黒岡 祐介<sup>2)</sup>、田中 英高<sup>3)</sup>、芦田 明<sup>1)</sup>

#### 12-02 2016年～2025年に当院を初診し治療を行った摂食障害22例の検討

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 小児科

○相馬 良子、田村 玲子、杉本 有紀子、松尾 康史、中河 いよう

### 12-03 過去5年間の当院における起立性調節障害患者270例の診療状況

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 小児科<sup>1)</sup>、奈良総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○古市 康子<sup>1)</sup>、藤野 真帆<sup>1)</sup>、高野 将彰<sup>1)</sup>、辻本 力歩<sup>1)</sup>、新宮領 大貴<sup>1)</sup>、柳野 智<sup>1)</sup>、芳田 龍太<sup>1)</sup>、能村 賀子<sup>1)</sup>、岩越 奈由<sup>1)</sup>、土井 政明<sup>2)</sup>

### 12-04 演題取下げ

### 12-05 長時間ビデオ脳波モニタリングにより診断した心因性非てんかん発作の1例

奈良県立医科大学附属病院 小児科

○川口 達也、奥本 航平、竹田 洋子、榎原 崇文、野上 恵嗣

### 12-06 教員・学校関係者を対象とした5歳児健診の認知度に関する調査からみた現状と課題

関西医科大学小児科学講座

○石谷 健人、石崎 優子、柳本 嘉時、寺嶋 駿輝、原口 耕平、金子 一成

### 12-07 発達外来での心理発達検査、WISC-IV+K-ABC-IIの有用性

東大寺福祉療育病院 小児科

○高橋 幸博、小武内 行雄

## 一般演題13：代謝・内分泌1 (13:10~14:25)

座長：坊 亮輔 (神戸大学医学部附属病院 小児科 講師)  
李 知子 (兵庫医科大学 小児科 臨床准教授)

### 13-01 プロバイオティクスが抗薬物抗体産生に影響を与えたと思われるFabry病の一例

関西医科大学 医学部 小児科学講座

○大町 太一、江守 公平、卜部 馨介、山添 敬史、松野 良介、金子 一成

### 13-02 溶血性貧血にて発症し、肝臓CT検査が診断の契機となったWilson病の1例

京都第二赤十字病院<sup>1)</sup>、京都府立医科大学附属病院<sup>2)</sup>

○木村 洋介<sup>1,2)</sup>、河瀬 泉<sup>1)</sup>、久保 裕<sup>1)</sup>、齋藤 多恵子<sup>1)</sup>、金山 拓誉<sup>1,2)</sup>、福原 正太<sup>1)</sup>、森岡 茂己<sup>1)</sup>、小林 奈歩<sup>1)</sup>、藤井 法子<sup>1)</sup>、加納 原<sup>1)</sup>

### 13-03 心因性を疑う脱力発作で受診され、Wilson病による非代償性肝硬変と診断した13歳男児

医学研究所北野病院 初期研修医<sup>1)</sup>、医学研究所北野病院 小児科<sup>2)</sup>

○王 岳司<sup>1)</sup>、中里 亦思<sup>2)</sup>、山崎 郁夫<sup>2)</sup>、北岡 建吾<sup>2)</sup>、宮里 茉樹<sup>2)</sup>、大西 健二<sup>2)</sup>、塩田 光隆<sup>2)</sup>

### 13-04 肥大型心筋症を合併した非ケトーシス型高グリシン血症の1例

奈良県総合医療センター 新生児集中治療部

○桐村 章大、北風 真子、村田 昌之、勝見 兼伍、森 宇宏、小林 遼平、高木 久美子、安原 肇、恵美須 礼子、扇谷 綾子

### 13-05 頭部外傷後に嘔吐・意識障害を来しオルニチントランスカルバミラーゼ欠損症と診断した5歳女児

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、  
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 小児科<sup>2)</sup>

○西條 光伸<sup>1)</sup>、大西 健仁<sup>2)</sup>、田中 和音<sup>2)</sup>、土井 脩平<sup>2)</sup>、山本 祐<sup>2)</sup>、松村 誠紀<sup>2)</sup>、酒井 達紘<sup>2)</sup>、高折 徹<sup>2)</sup>、熊倉 啓<sup>2)</sup>、塩田 光隆<sup>2)</sup>

### 13-06 低血糖発作を契機に3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルCoA合成酵素欠損症と診断した乳児の一例

奈良県西和医療センター 小児科

○渡邊 康平、西山 敦子、山田 光陽、田口 真輝、吉澤 弘行

### 13-07 意識障害をきたしたカルニチン欠乏の1症例

大阪医科薬科大学病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所<sup>2)</sup>、大阪大谷大学教育学部<sup>3)</sup>

○居相 有紀<sup>1)</sup>、岡内 日菜美<sup>1)</sup>、北原 光<sup>1)</sup>、島川 修一<sup>1,2)</sup>、福井 美保<sup>1,2,3)</sup>、芦田 明<sup>1)</sup>

### 13-08 小児病院における入院患者を対象とした家族性高コレステロール血症スクリーニングの試み

大阪旭こども病院

○卯西 恵理、木野 仁郎、山口 正、小菅 維彦、田代 春日、村上 貴孝、荒木 敦、木野 稔

### 13-09 疾患抵抗性HLAハプロタイプを持ちながら劇症1型糖尿病を発症した14歳女児の1例

京都第一赤十字病院

○吉村 悠希、宮垣 知史、森下 祐馬、富井 敏宏、甲山 望、岡本 亜希子、中川 憲夫、近藤 秀仁、短田 浩一、西村 陽

## 一般演題14：代謝・内分泌2 (15:45～16:35)

座長：長井 静世 (滋賀医科大学 小児科学講座 助教)

藤原 誠 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学 講師)

### 14-01 小児における後天性甲状腺機能低下症と貧血の関係について

関西医科大学 小児科学講座

○野村 直宏、見浪 実紀、田邊 裕子、金子 一成

### 14-02 腸瘻造設術後に一過性に偽性低アルドステロン症1型を発症した胎便性腹膜炎の1例

神戸大学大学院医学系研究科 内科系講座小児科学分野

○藤井 真衣、中田 有紀、今川 幸人、白井 佳祐、増田 祐、城戸 拓海、芦名 満理子、藤岡 一路、野津 寛大

### 14-03 アルギニン負荷試験でアナフィラキシーをきたした1例

独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 小児科

○松尾 康史、田村 玲子、相馬 良子、杉本 有紀子、中河 いよう

### 14-04 乳児期にビスホスホネート製剤投与を開始した骨形成不全症9例の検討

大阪母子医療センター 腎・代謝科<sup>1)</sup>、大阪母子医療センター研究所 骨発育疾患研究部門<sup>2)</sup>

○光岡 史貴<sup>1)</sup>、馬場 皆人<sup>1)</sup>、藤原 香緒里<sup>1)</sup>、山村 なつみ<sup>1)</sup>、道上 敏美<sup>1,2)</sup>、窪田 拓生<sup>1)</sup>

### 14-05 無熱性痙攣発作から診断に至った常染色体顕性低カルシウム血症1型の一例

八尾市立病院 小児科<sup>1)</sup>、奈良県立医科大学 小児科<sup>2)</sup>、大阪大学大学院医学系研究科 小児科学<sup>3)</sup>、大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 成育小児科学研究室<sup>4)</sup>

○吉川 侑子<sup>1)</sup>、濱田 匡章<sup>1)</sup>、井崎 和史<sup>1)</sup>、道之前 八重<sup>1)</sup>、箕輪 秀樹<sup>1)</sup>、長谷川 真理<sup>2)</sup>、大幡 泰久<sup>3)</sup>、藤原 誠<sup>3)</sup>、山本 賢一<sup>3,4)</sup>

### 14-06 母体ビタミンD欠乏が一因と考えられる低Ca血症を呈したSGA児の一例

加古川中央市民病院

○島田 理穂、呉 東祐、上杉 裕紀、宇保 早希子、西田 浩輔、小寺 孝幸、高寺 明弘、森沢 猛

## 一般演題15：在宅医療・その他 (16:45～17:55)

座長：三木 直樹 (東大寺福祉療育病院 副院長)

熊田 知浩 (くまだキッズ・ファミリークリニック)

### 15-01 こどもホスピスでの終末期におけるリハビリ療法についてのアンケート調査

淀川キリスト教病院 小児科

○金田 瑛甫、鍋谷 まこと

**15-02 療育施設における訪問診療**

大阪発達総合療育センター

○塩見 夏子、藤岡 澄司、渡辺 陽和、片山 珠美、柏木 淳子、飯島 禎貴、竹本 潔、船戸 正久

**15-03 救われた命のバトンを引き継ぐその後のケアー重症心身障害児者施設の現状と課題**

社会福祉法人バルツァ事業会 重症心身障害児学園・病院 バルツァ・ゴードル

○羽多野 わか

**15-04 当クリニックの訪問診療の対象者における移行期医療の実際**

医療法人輝優会 かがやきクリニック

○南條 浩輝、小川 未来、中島 純一、白 潤夏

**15-05 在宅医療的ケア児の拠点病院から訪問診療家庭医への移行における問題点**

奈良県総合医療センター 小児外科<sup>1)</sup>、奈良県総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>

○山内 勝治<sup>1)</sup>、木村 浩基<sup>1)</sup>、古形 修平<sup>1)</sup>、佐々木 隆士<sup>1)</sup>、米倉 竹夫<sup>1)</sup>、吉田 さやか<sup>2)</sup>

**15-06 重度心身障害児（者）管理における心拍数の有用性**

東大寺福祉療育病院 小児科

○高橋 幸博、三木 直樹、金 一、脇田 絵美、富和 清隆

**15-07 COVID-19抗原定量値の変動－脱水症との関係－**

高槻赤十字病院 小児科

○河上 千尋

**15-08 「胸痛」を主訴に地域連携を介して大学病院へ紹介となった小児症例47例の検討**

大阪大学大学院 医学系研究科 小児科

○馬場 達也、成田 淳、皇甫 奈音、末廣 友里、林田 由伽、長野 広樹、加藤 温子、石井 良、石田 秀和、北島 康司

## 第5会場 「1006-1007」

### 一般演題16：血液・腫瘍1 (9:35～10:35)

座長：佐藤 真穂 (大阪母子医療センター 血液・腫瘍科 副部長)  
竹下 泰史 (市立奈良病院 小児科 部長)

#### 16-01 神経線維腫症1型に合併した若年性骨髄単球性白血病の2例

京都大学医学部附属病院 小児科

○西尾 周朗、才田 聡、三谷 一樹、安積 昌平、窪田 博仁、加藤 格、梅田 雄嗣、滝田 順子

#### 16-02 Chemo-free regimenで再寛解に至った、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の2例

兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科

○鳥井 大輝、吉川 なつこ、菊池 菜摘、植村 優、齋藤 敦郎、二野 菜々子、神前 愛子、石田 敏章、森 健、長谷川 大一郎

#### 16-03 マイコプラズマ感染症を契機に重度の溶血発作をきたした遺伝性球状赤血球症の一例

西和医療センター

○高田 睦貴、田口 真輝、渡邊 康平、山田 光陽、西山 敦子、吉澤 弘行

#### 16-04 ヒトパルボウイルスB19感染後に血球貪食性リンパ組織球症様の病態を呈した遺伝性球状赤血球症の女児例

市立奈良病院 小児科

○柴崎 史隆、竹下 泰史、池田 衣里、大塚 敬太、平 康二

#### 16-05 パルボウイルスB19感染に伴う重度の貧血に対し赤血球輸血後に閉塞性黄疸を来した遺伝性球状赤血球症の一例

兵庫県立尼崎総合医療センター小児科<sup>1)</sup>、兵庫県立尼崎総合医療センター小児血液腫瘍内科<sup>2)</sup>、  
兵庫県立尼崎総合医療センター小児外科<sup>3)</sup>、兵庫医科大学病院小児科<sup>4)</sup>

○鳥田 朋香<sup>1)</sup>、岩井 篤<sup>1,2)</sup>、黒田 裕之<sup>1)</sup>、田中 邦昭<sup>1,2)</sup>、小林 健一郎<sup>1,2)</sup>、鹿子木 悠<sup>3)</sup>、岡本 晋弥<sup>3)</sup>、  
每原 敏郎<sup>1)</sup>、大塚 欣敏<sup>4)</sup>、宇佐美 郁哉<sup>1,2)</sup>

#### 16-06 当院で経験したパルボウイルスB19感染による無形成発作4症例の検討

私立豊中病院 小児科

○佐藤 一穂、高橋 邦彦、長澤 唯、浜野 彰太、野口 杏子、尾上 泰祐、西本 静香、荒堀 仁美、茶山 公祐

#### 16-07 皮膚病変の生検により診断に至った造血器腫瘍の2症例

大阪母子医療センター 血液・腫瘍科

○沖吉 久実佳、樋口 紘平、井上 将太、岡田 洋介、佐藤 真穂、澤田 明久

### 一般演題17：血液・腫瘍2 (10:45～11:45)

座長：加藤 格 (京都大学医学部附属病院 発達小児科学教室 講師)  
石原 卓 (公立大学法人奈良県立医科大学 小児科 講師)

#### 17-01 鉄過剰症の管理に難渋している輸血依存性サラセミアの5歳女児

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、  
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 小児科<sup>2)</sup>

○永井 精一郎<sup>1)</sup>、山崎 郁夫<sup>2)</sup>、片井 悠太<sup>2)</sup>、國分 杏奈<sup>2)</sup>、光吉 康太<sup>2)</sup>、杉原 健介<sup>2)</sup>、宮里 茉樹<sup>2)</sup>、  
山本 祐<sup>2)</sup>、三上 真充<sup>2)</sup>、塩田 光隆<sup>2)</sup>

- 17-02 亜鉛過剰に起因する銅欠乏により好中球減少と貧血を呈した重症心身障害児の一例  
奈良県立医科大学 小児科<sup>1)</sup>、奈良県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門<sup>2)</sup>  
○川崎 有輝<sup>1)</sup>、大前 隆志<sup>1)</sup>、釜本 智之<sup>2)</sup>、荻原 建一<sup>1)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>
- 17-03 頻尿の精査から巨大叢状神経線維腫を伴う神経線維腫症1型と診断された7歳男児  
公益財団法人田附医学研究所北野病院  
○岩垣 志保、片井 悠太、國分 杏奈、安心院 蔵吏、後藤 直人、高折 徹、三上 真充、熊倉 啓、澤田 健、塩田 光隆
- 17-04 神経芽腫治療後に発症した二次性骨肉腫の女児例  
京都府立医科大学 小児科<sup>1)</sup>、京都府立医科大学 整形外科<sup>2)</sup>、京都府立医科大学 小児外科<sup>3)</sup>  
○木田 晃弘<sup>1)</sup>、富田 晃正<sup>1)</sup>、吉田 秀樹<sup>1)</sup>、宮地 充<sup>1)</sup>、森 裕貴<sup>2)</sup>、寺内 竜<sup>2)</sup>、文野 誠久<sup>3)</sup>、土屋 邦彦<sup>1)</sup>、家原 知子<sup>1)</sup>
- 17-05 術前検査でみられた一過性ループスアンチコアグラントの5症例  
和歌山県立医科大学 小児科<sup>1)</sup>、和歌山県立医科大学 分子遺伝学講座<sup>2)</sup>、和歌山ろうさい病院 小児科<sup>3)</sup>  
○栗山 愛梨<sup>1)</sup>、徳原 大介<sup>1)</sup>、神波 信次<sup>1)</sup>、市川 貴之<sup>1)</sup>、辻本 弘<sup>2)</sup>、西川 香瑠<sup>3)</sup>
- 17-06 右半球離断術において3施設連携による周術期止血管理を行った重症血友病Aの1例  
奈良県立医科大学 小児科<sup>1)</sup>、大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科<sup>2)</sup>、同センター 小児血液・腫瘍内科<sup>3)</sup>、同センター 小児脳神経外科<sup>4)</sup>、大阪医療センター 血友病科<sup>5)</sup>  
○志手 弥生<sup>1,2)</sup>、大井 遼<sup>3)</sup>、國廣 誉世<sup>4)</sup>、古川 晶子<sup>5)</sup>、九鬼 一郎<sup>2)</sup>、岡崎 伸<sup>2)</sup>、藤崎 弘之<sup>3)</sup>、武山 雅博<sup>5)</sup>、荻原 建一<sup>1)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>
- 17-07 過多月経に対しトラネキサム酸内服が有効であった血友病保因者の4例  
国立病院機構 大阪医療センター 血友病科  
○古川 晶子、石田 奈々、久保 明日香、西田 恭治、武山 雅博

## 一般演題18：呼吸器・感染症1 (13:10～14:25)

座長：古市 康子（地方独立行政法人市立東大阪医療センター 小児科 部長）  
水野 真介（兵庫県立こども病院 感染症内科 医長）

- 18-01 Multiplex PCR検査におけるパラインフルエンザウイルスの検出状況と臨床経過についての検討  
和泉市立総合医療センター 小児科  
○西本 凜里、清原 華也、末澤 理玖、萩原 雅勝、秦 直樹、澤田 智、坂東 賢二、村上 城子
- 18-02 エコーウイルス11型流行期に和歌山で経験した3ヶ月未満児のエンテロウイルス髄膜炎4例  
日本赤十字社和歌山医療センター 小児科<sup>1)</sup>、日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部<sup>2)</sup>  
○薬王 俊成<sup>1,2)</sup>、貴彦 大樹<sup>1)</sup>、岡元 文香<sup>1)</sup>、前田 啓祐<sup>1)</sup>、宮崎 紗矢香<sup>1)</sup>、坂部 匡彦<sup>1)</sup>、額田 貴之<sup>1)</sup>、横山 宏司<sup>1)</sup>、杉峰 啓憲<sup>1)</sup>、儘田 光和<sup>1)</sup>
- 18-03 Film Array髄膜炎・脳炎パネルで早期診断し得たヒトパレコウイルス髄膜炎7症例の経過  
淀川キリスト教病院 小児科  
○植嶋 晃子、松本 昇、瀬尾 尚史、浦上 可奈子、西原 正人、鍋谷 まこと
- 18-04 髄膜炎症状が先行し皮疹の出現がおくれた帯状疱疹に伴う水痘・帯状疱疹ウイルス髄膜炎の1例  
独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター  
○田村 玲子、相馬 良子、杉本 有紀子、松尾 康史、中河 いよう
- 18-05 FilmArray髄膜炎・脳炎パネルが診断に有用であった内耳奇形に起因する再発性細菌性髄膜炎の2症例  
淀川キリスト教病院 小児科<sup>1)</sup>、淀川キリスト教病院 耳鼻科<sup>2)</sup>  
○川島 諒也<sup>1)</sup>、浦上 可奈子<sup>1)</sup>、馬淵 純一<sup>1)</sup>、畑 恭平<sup>1)</sup>、瀬尾 尚史<sup>1)</sup>、松本 昇<sup>1)</sup>、木下 彩子<sup>2)</sup>、西原 正人<sup>1)</sup>、中野 友明<sup>2)</sup>、鍋谷 まこと<sup>1)</sup>

## 18-06 小児頸部膿瘍の外科的排膿を予測する臨床因子の検討

京都第二赤十字病院

○坂本 武史、藤井 紀子、王 優碧、河瀬 泉、岡本 賢治、久保 裕、斎藤 多恵子、森岡 茂己、小林 奈歩、加納 原

## 18-07 急性中耳炎治療中に発症したLuc膿瘍の1例

八尾市立病院 小児科

○杉村 憲市、濱田 匡章、井崎 和史、道之前 八重、吉川 侑子、佐々木 彩、久保 昂司、南部 優志、箕輪 秀樹

## 18-08 扁桃周囲膿瘍に外頸静脈の血栓性静脈炎を併発した1例

耳原総合病院 1年次臨床研修医<sup>1)</sup>、耳原総合病院 小児科<sup>2)</sup>

○富永 智久<sup>1)</sup>、瀬戸 司<sup>2)</sup>、松本 千奈美<sup>2)</sup>、小谷 有紀<sup>2)</sup>、藤井 建一<sup>2)</sup>

## 18-09 日本海裂頭条虫症の兄弟例

市立豊中病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪健康安全基盤研究所<sup>2)</sup>

○浜野 彰太<sup>1)</sup>、高橋 邦彦<sup>1)</sup>、野口 杏子<sup>1)</sup>、尾上 泰祐<sup>1)</sup>、西本 静香<sup>1)</sup>、荒堀 仁美<sup>1)</sup>、徳永康行<sup>1)</sup>、馬場 孝<sup>2)</sup>、茶山 公祐<sup>1)</sup>

## 一般演題19：呼吸器・感染症2 (15:45～16:35)

座長：高川 健 (国保中央病院 小児科 副院長)

野崎 昌俊 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター  
周産期・小児感染症科/新生児科 主任部長)

## 19-01 マイコプラズマ肺炎加療中に感音性難聴を認め、ステロイドが奏功した12歳男児の一例

大和高田市立病院 小児科

○萬代 剛司、鶴飼 也真人、西川 有希、清水 真理子、池田 聡子、川口 千晴

## 19-02 重度の貧血を契機に診断した呼吸器症状を伴わない特発性肺ヘモジデロシス

大阪急性期・総合医療センター

○小村 檀、小林 佑太朗、宮崎 真、桂木 慎一、里村 宜紀、根来 彩子、丸山 朋子、小川 加奈、西浦 博史、小垣 滋豊

## 19-03 薬物誘発睡眠内視鏡検査 (DISE) で診断した誘発性喉頭閉塞症 (ILO) の一例

地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院<sup>1)</sup>、神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野<sup>2)</sup>

○三浦 崇徳<sup>1)</sup>、小寺 孝幸<sup>1)</sup>、永井 貞之<sup>1)</sup>、増田 祐<sup>2)</sup>、近藤 淳<sup>1)</sup>、藤村 順也<sup>1)</sup>、松本 和徳<sup>1)</sup>、豊嶋 大作<sup>1)</sup>、西山 敦史<sup>1)</sup>、森沢 猛<sup>1)</sup>

## 19-04 一旦解熱後に大量胸水をきたしステロイドが著効したマイコプラズマ肺炎疑いの12歳男児例

済生会奈良病院 小児科<sup>1)</sup>、奈良県総合医療センター 小児科<sup>2)</sup>、奈良県立医科大学 小児科<sup>3)</sup>

○平尾 恵子<sup>1)</sup>、森本 広之<sup>1)</sup>、北野 泰斗<sup>2)</sup>、大西 智子<sup>3)</sup>

## 19-05 MRSA肺化膿症の治療過程でバンコマイシン (VCM) による薬剤性肺障害を発症した一例

滋賀医科大学小児科学講座

○傍島 宏貴、北岸 弥寿朗、西澤 侑香、西倉 紀子、丸尾 良浩

## 19-06 水痘ワクチン接種後の水痘に肺炎を合併した1例

医療法人宝生会 PL 病院

○大平 正子、松並 尚幸、西村 章、若原 良平、濱 浩一、堀田 優子、植山 浩一、古川 良樹、前川 雅史、今村 卓司

## 一般演題20：呼吸器・感染症3 (16:45～17:55)

座長：北野 泰斗 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 医長)  
水野 真介 (兵庫県立こども病院 感染症内科 医長)

### 20-01 血液培養採取方法の見直しによるコンタミネーション率の変化

淀川キリスト教病院 2年次臨床研修医<sup>1)</sup>、淀川キリスト教病院 小児科<sup>2)</sup>

○岩佐 碩人<sup>1)</sup>、松本 昇<sup>2)</sup>、瀬尾 尚史<sup>2)</sup>、浦上 可奈子<sup>2)</sup>、西原 正人<sup>2)</sup>、鍋谷 まこと<sup>2)</sup>

### 20-02 市中病院における菌血症症例の臨床的検討

市立豊中病院

○川上 竜太郎、高橋 邦彦、長澤 唯、浜野 彰太、野口 杏子、尾上 泰祐、西本 静香、荒堀 仁美、徳永 康行、  
茶山 公祐

### 20-03 当院の集中治療系病棟におけるExpanded-spectrum $\beta$ -lactamase産生Klebsiella pneumoniaeの院内感染の検討

兵庫県立こども病院 感染症内科<sup>1)</sup>、大阪健康安全基盤研究所 細菌課<sup>2)</sup>

○佐伯 玲<sup>1)</sup>、水野 真介<sup>1)</sup>、田中 沙紀<sup>1)</sup>、河原 隆二<sup>2)</sup>、笠井 正志<sup>1)</sup>

### 20-04 僻地小児医療圏におけるFilmArray呼吸器パネルの有用性

南奈良総合医療センター

○土井 政明、友松 典子、西山 優

### 20-05 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン使用患者とその家族に対する有効性・安全性・満足度調査結果の検討

労働者健康安全機構 大阪ろうさい病院 小児科<sup>1)</sup>、大阪医科薬科大学医学部医学科 泌尿発達・生殖医学講座 小児科学<sup>2)</sup>

○藤村 風羽子<sup>1)</sup>、川村 尚久<sup>1)</sup>、加藤 幹雄<sup>1)</sup>、難波 昂宏<sup>1)</sup>、岡本 奈美<sup>1)</sup>、芦田 明<sup>2)</sup>

### 20-06 日本人妊婦におけるRSVワクチンおよび三種混合ワクチン接種意向に対する医療情報提供の影響

奈良県総合医療センター 小児科

○平野 信慈、北野 泰斗、岡村 卓実、蜂須賀 宗嗣、山本 直寛、西川 宏樹、大仲 雅之、鈴木 里香、  
吉田 さやか

### 20-07 ワクチン非含有型肺炎球菌による小児侵襲性肺炎球菌感染症の3例

関西医科大学香里病院 小児科<sup>1)</sup>、関西医科大学 小児科学講座<sup>2)</sup>

○太田 優<sup>1)</sup>、田邊 裕子<sup>1)</sup>、野村 直宏<sup>1)</sup>、見浪 実紀<sup>1)</sup>、金子 一成<sup>2)</sup>

### 20-08 マクロライド・キノロン前治療がマイコプラズマ感染症入院例に及ぼす影響

ベルランド総合病院

○端 里香、安谷屋 知佐、島 盛雅、田中 俊光、鳥越 史子、池田 妙、甲斐 昌彦、熊谷 健、大島 利夫、  
沖永 剛士